

平成 26 年度  
昭和区区民アンケート  
調査結果

昭和区役所では、区民のみなさまのご意見を把握し、区政運営に活かしていくため、年に1回区民アンケートを実施させていただいております。

このアンケートは、区内にお住まいの満 20 歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた 2,000 人の方を対象に実施するもので、平成 26 年度は、「昭和区での居住継続意向」「区政運営方針について」「区役所で行っている事業」「家庭での震災対策」について調査をいたしました。

調査結果につきましては、「住み続けたい」と思っている区民の方が 95%を超え、区政運営方針に掲げた施策の実現度につきましても、昨年度に引き続き高い評価をいただきました。

重点施策の中で力を入れていくべき分野としては、これまでと同様に防犯、防災や減災、高齢者福祉などがあげられています。

また、子育て支援や、生活環境についての区役所に対するご意見から、区民の方が身近に感じられている課題の解決が求められていると感じました。

いただいたご意見・ご提案などにつきましては、今後の区政運営に役立てていくよう努めてまいります。

アンケートにご協力くださった皆さまには貴重なご意見をいただき、心からお礼申し上げます。

平成 26 年 9 月 昭和区長 柴田 真吾

昭和区役所企画経理室

電話 052 (735) 3872

FAX 052 (733) 5534

電子メール a7353872-01@showa.city.nagoya.lg.jp

## 平成26年度昭和区区民アンケートの調査結果

### 調査の概要

#### 1. 調査の目的

区民の区政に対する認知度や意見等を把握し、次年度区政運営方針の策定や、まちづくり事業の参考とする。また、区役所に対するニーズの傾向などを区にお住まいの方にわかりやすく説明することを目的とする。

#### 2. 調査の地域

名古屋市昭和区の全域

#### 3. 調査の対象、数

区内居住の20歳以上の男女 2,000人

#### 4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

#### 5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

#### 6. 調査期間

平成26年6月2日～ 6月20日

#### 7. 回収数

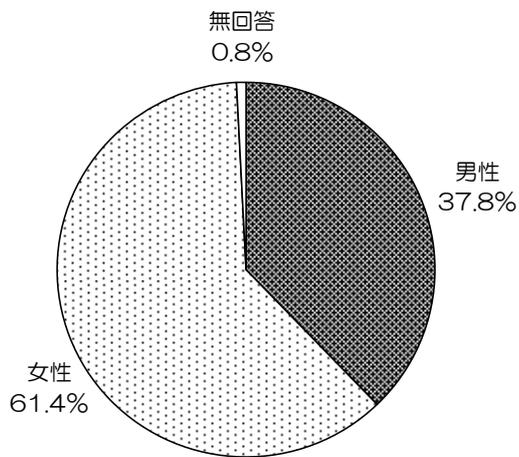
872人 (43.6%)

(参考) 平成25年度：837人 (41.9%)

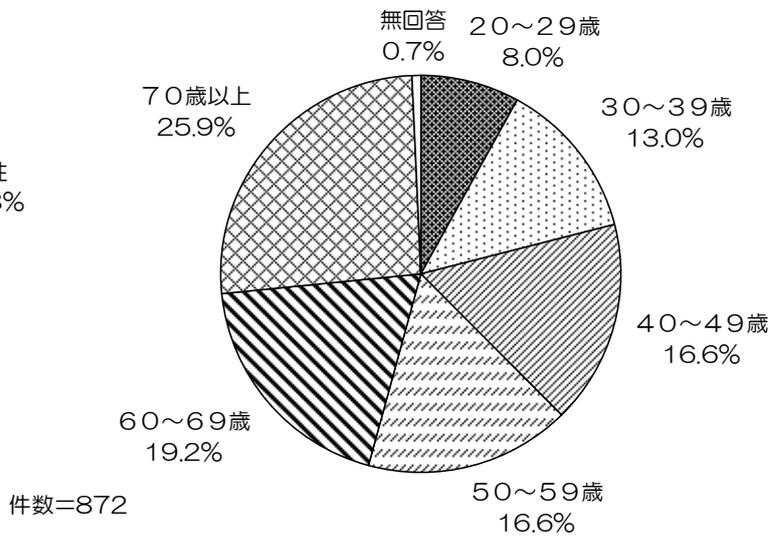
注：文章や表、グラフに記してある構成比率(%)は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が100.0とならないものがあります。

## 調査対象者の属性

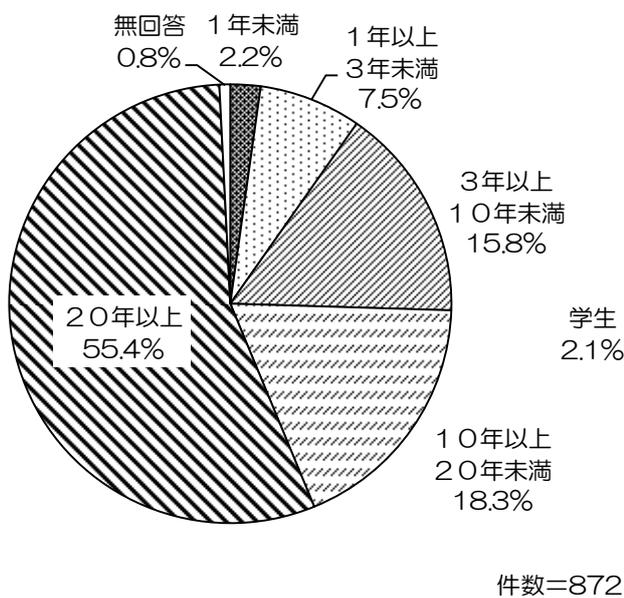
性別



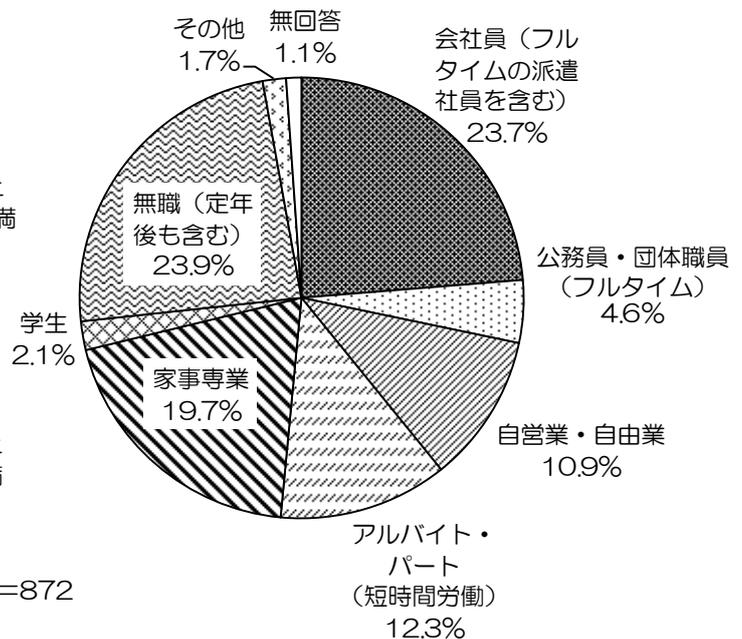
年齢



居住年数



職業

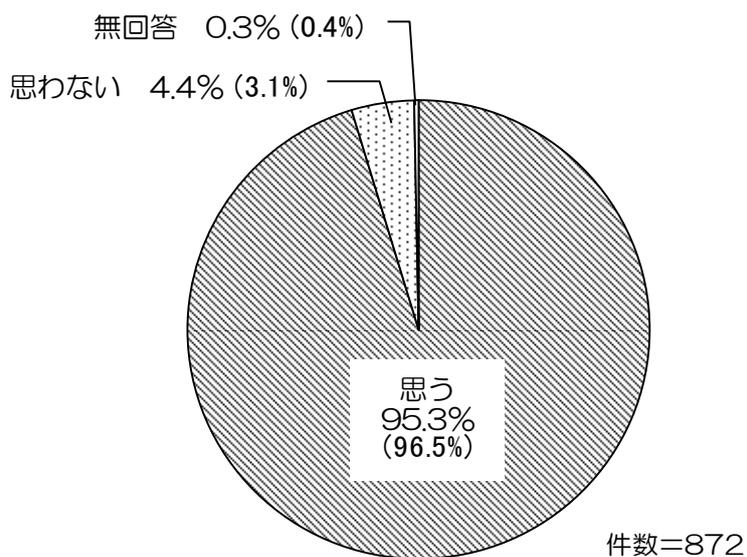


## 1 昭和区のまちづくりについて

- 昭和区では、毎年度、「区政運営方針」を策定し、以下の基本目標を掲げています。  
基本目標 みんなが住み続けたくなるまち昭和区

### (1) 昭和区居住継続意向

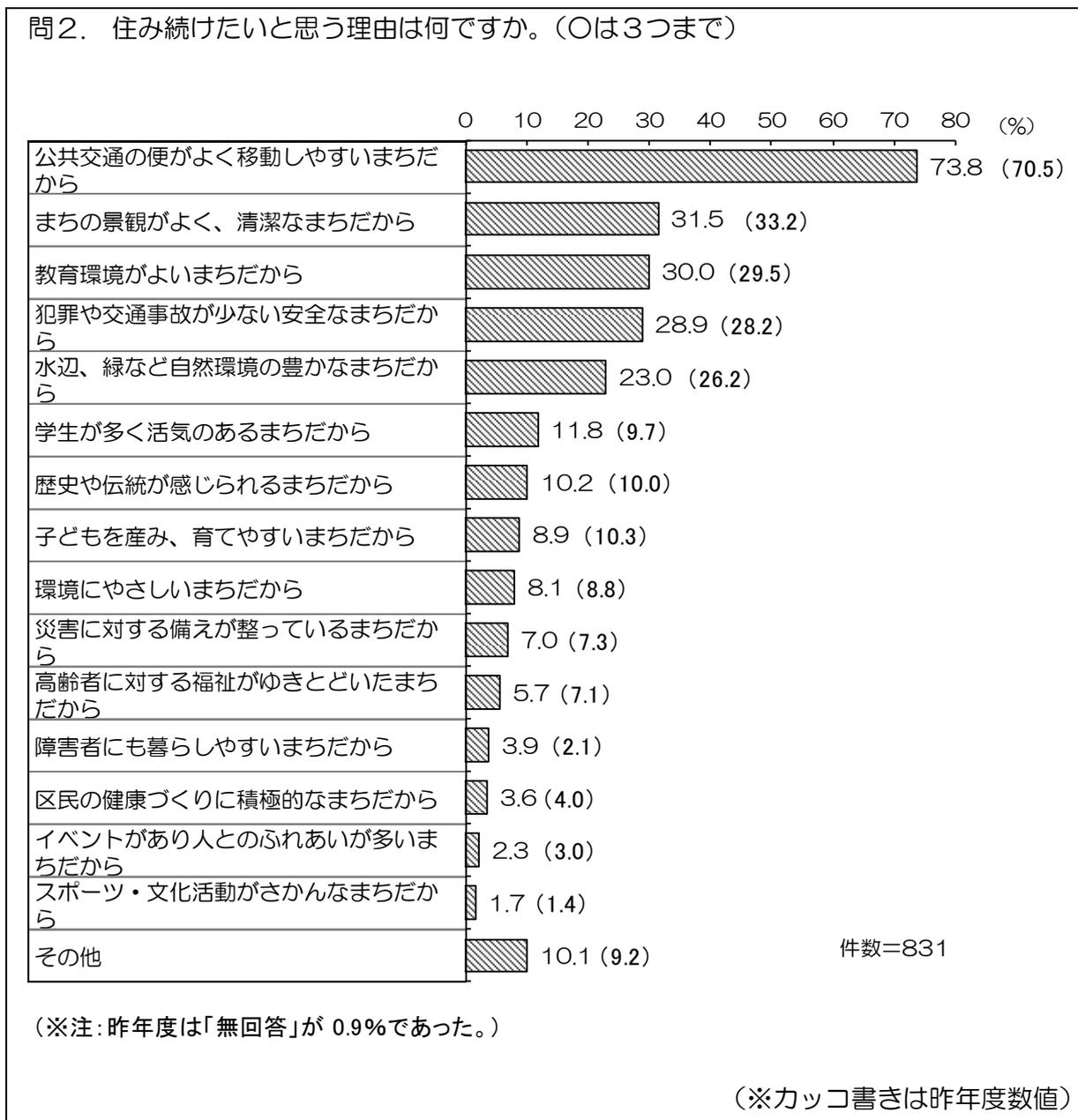
問1. あなたは、今後も昭和区に住み続けたいと思いますか。引っ越す予定のある方は、住み続けたいまちだったかについてお答えください。(いずれかに○)



(※カッコ書きは昨年度数値)

今後も昭和区に住み続けたいと「思う」区民が95.3%（昨年度96.5%）と大半を占め、「思わない」は4.4%（昨年度3.1%）となっています。

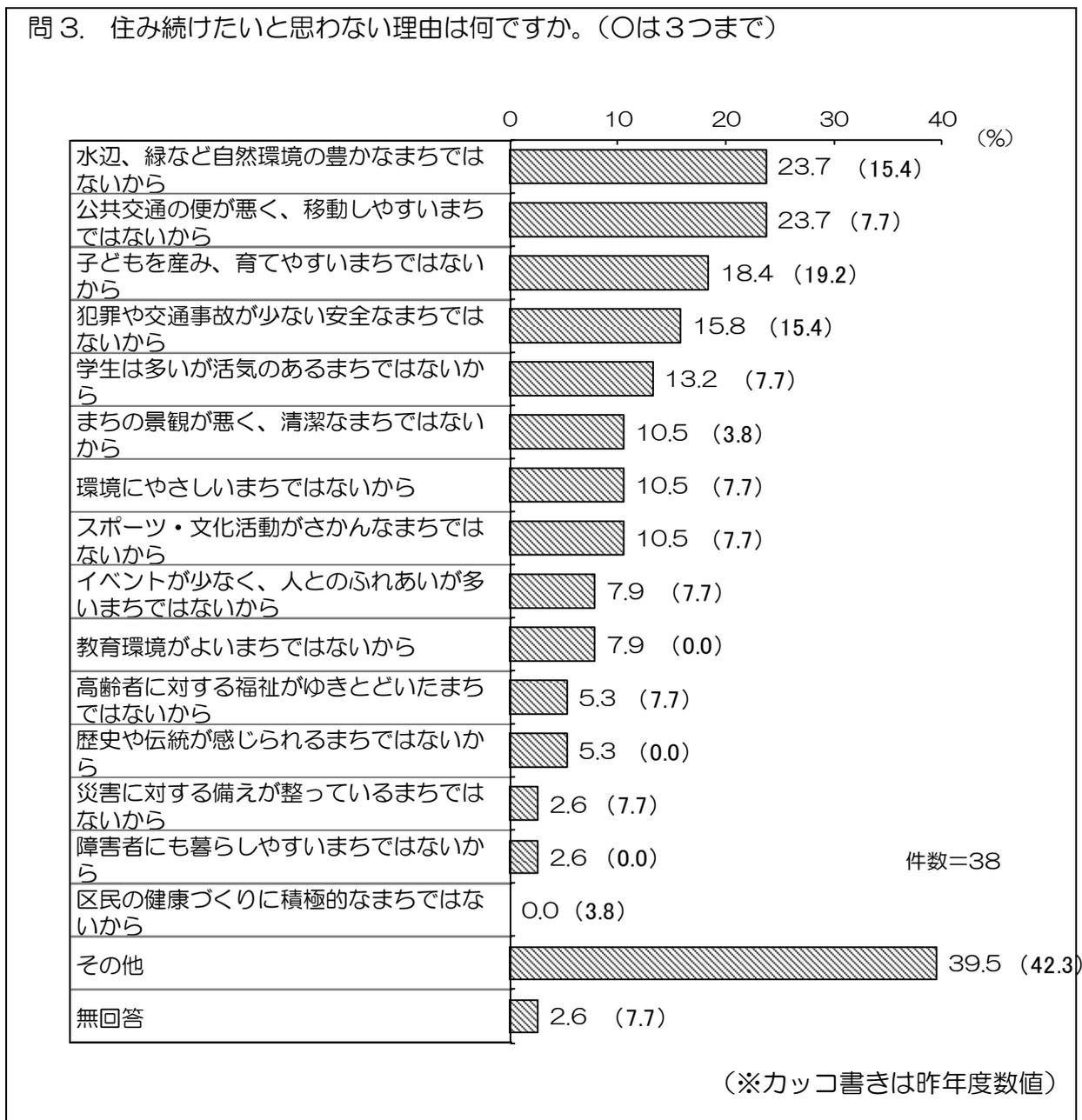
(2) 住み続けたいと思う理由



住み続けたいと思う区民 (831 人) の理由としては、以下のようになっています。

- ・「公共交通の便がよく移動しやすいまちだから」 73.8% (昨年度 70.5%)
- ・「まちの景観がよく、清潔なまちだから」 31.5% (昨年度 33.2%)
- ・「教育環境がよいまちだから」 30.0% (昨年度 29.5%)
- ・「犯罪や交通事故が少ない安全なまちだから」 28.9% (昨年度 28.2%)
- ・「水辺、緑など自然環境の豊かなまちだから」 23.0% (昨年度 26.2%)

### (3) 住み続けたいと思わない理由



住み続けたいと思わない方(38人)の理由としては、「水辺、緑など自然環境の豊かなまちではないから」と「公共交通の便が悪く、移動しやすいまちではないから」があげられています。

○ また、基本目標を達成するために、4つの重点施策を掲げています。

重点施策 ・安心・安全・快適に暮らせるまちづくり

【テーマ：防災、防犯、交通安全、町の美化、犬猫の飼主のマナー向上など】

・地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり

【テーマ：高齢者・障害者支援、子育て支援、健康づくり支援など】

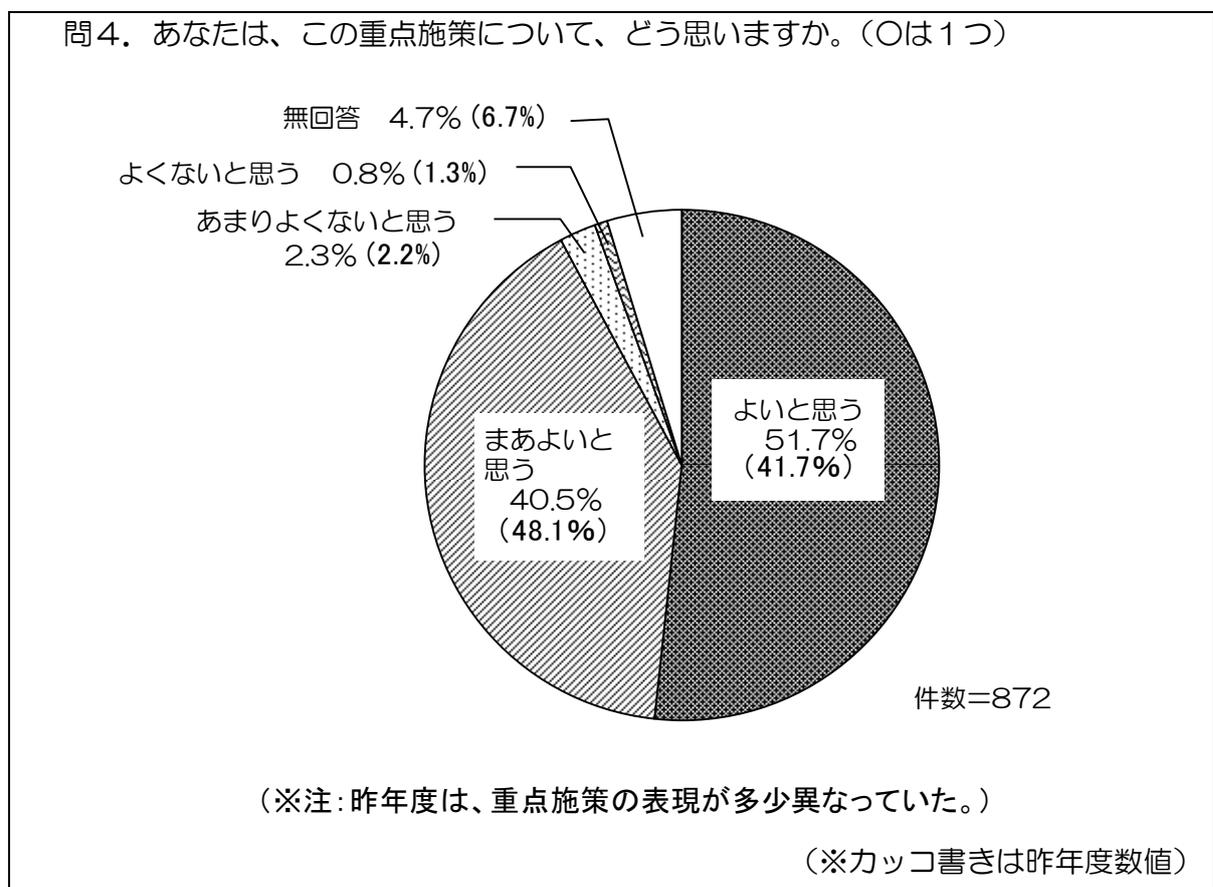
・ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり

【テーマ：まちの魅力発信、まつりなどのイベント、文化スポーツ活動支援など】

・信頼され愛される区役所づくり

【テーマ：窓口サービスの向上、広報の充実、区民ニーズの把握など】

#### (4) 重点施策の評価



重点施策の評価は、

・「よいと思う」が51.7%と過半数を占め、「まあよいと思う」40.5%を合わせると92.2% (昨年度 89.8%) となっています。

具体的な意見の記入 92件

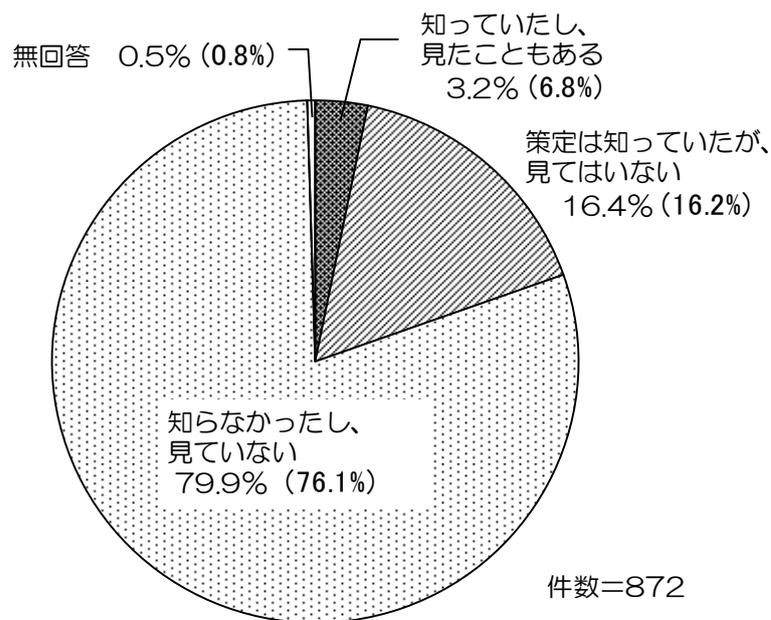
問4. 足りない視点(施策)または、不要だと思う視点(施策)がある場合には、簡潔に記入して下さい。

重点施策についての意見を自由回答形式でたずねたところ、犬猫の飼い主マナー・野良猫対策やイベントは不要等92件の意見があげられました。

## 2 区政運営方針について

### (1)「区政運営方針」策定の認知、閲覧度

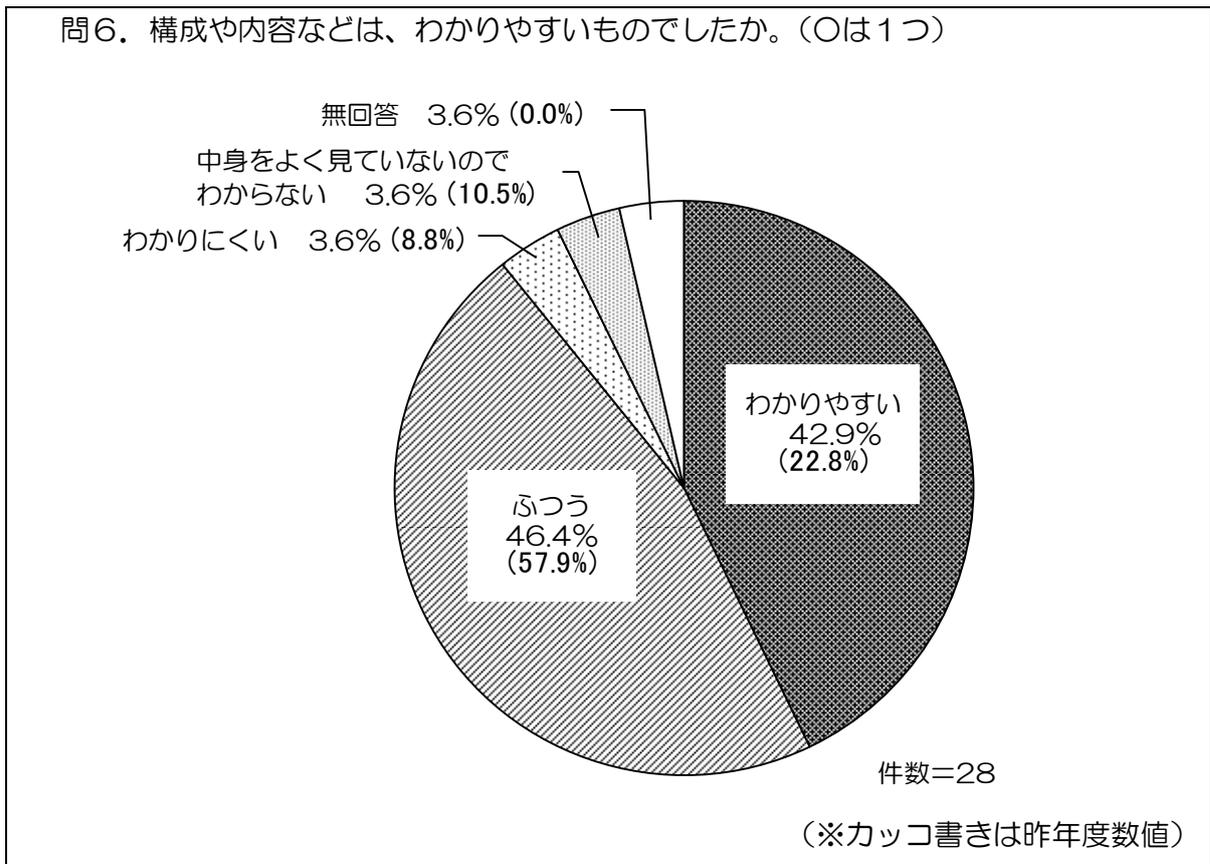
問5. あなたは、このアンケートを記入する以前から、「区政運営方針」が策定されていることを知っていましたか。また、昭和区の区政運営方針（平成23年度～25年度は昭和区ホットっとプランという名称）をご覧になったことはありますか。  
(○は1つ)



(※カッコ書きは昨年度数値)

「区政運営方針」については、「知っていたし、見たこともある」は3.2%で、「策定は知っていたが、見てはいない」16.4%を合わせて19.6%（昨年度23.0%）と、認知率は2割となっています。

(2)「区政運営方針」の構成や内容の評価



「区政運営方針」を見た方(28人)では、構成や内容などが「わかりやすい」は42.9%と4割以上、「ふつう」46.4%が半数弱で、合わせて89.3%(昨年度80.7%)と9割の方がふつう以上と評価しています。

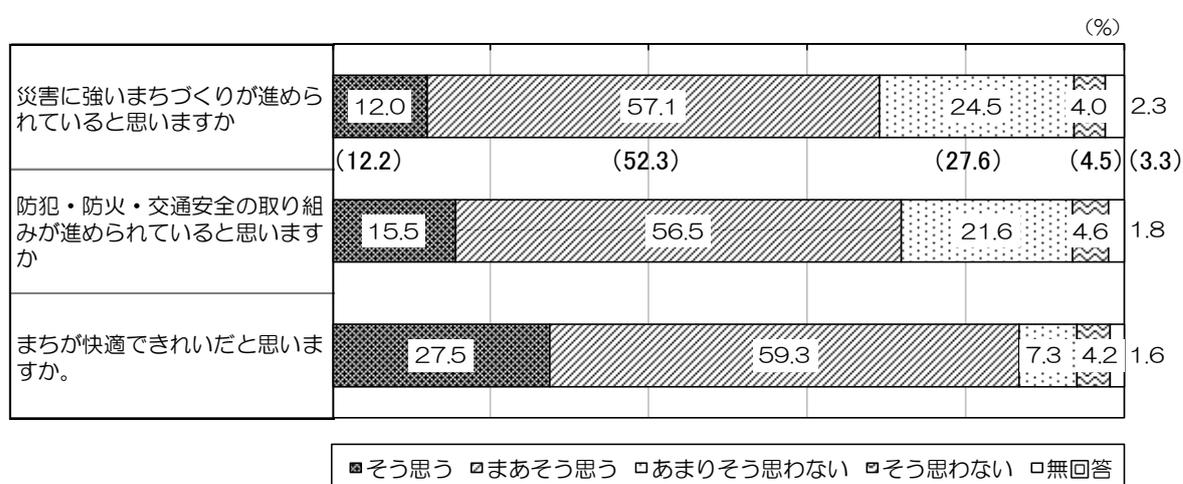
○区政運営方針の各重点施策に沿って、施策がどの程度実現しているかについて、あなたの評価をお答えいただきます。

※お答えいただく際には、別紙「25年度区政運営方針に掲載した事業の実績・成果」を参考にしてください。

### (3) 重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』について

#### 1)『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』の実現度

問7. 重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』が、昭和区において、どの程度実現できていると思いますか。(〇は1つ)



(※カッコ書きは昨年度数値)

重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』についての実現度のプラス評価(「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合)は、

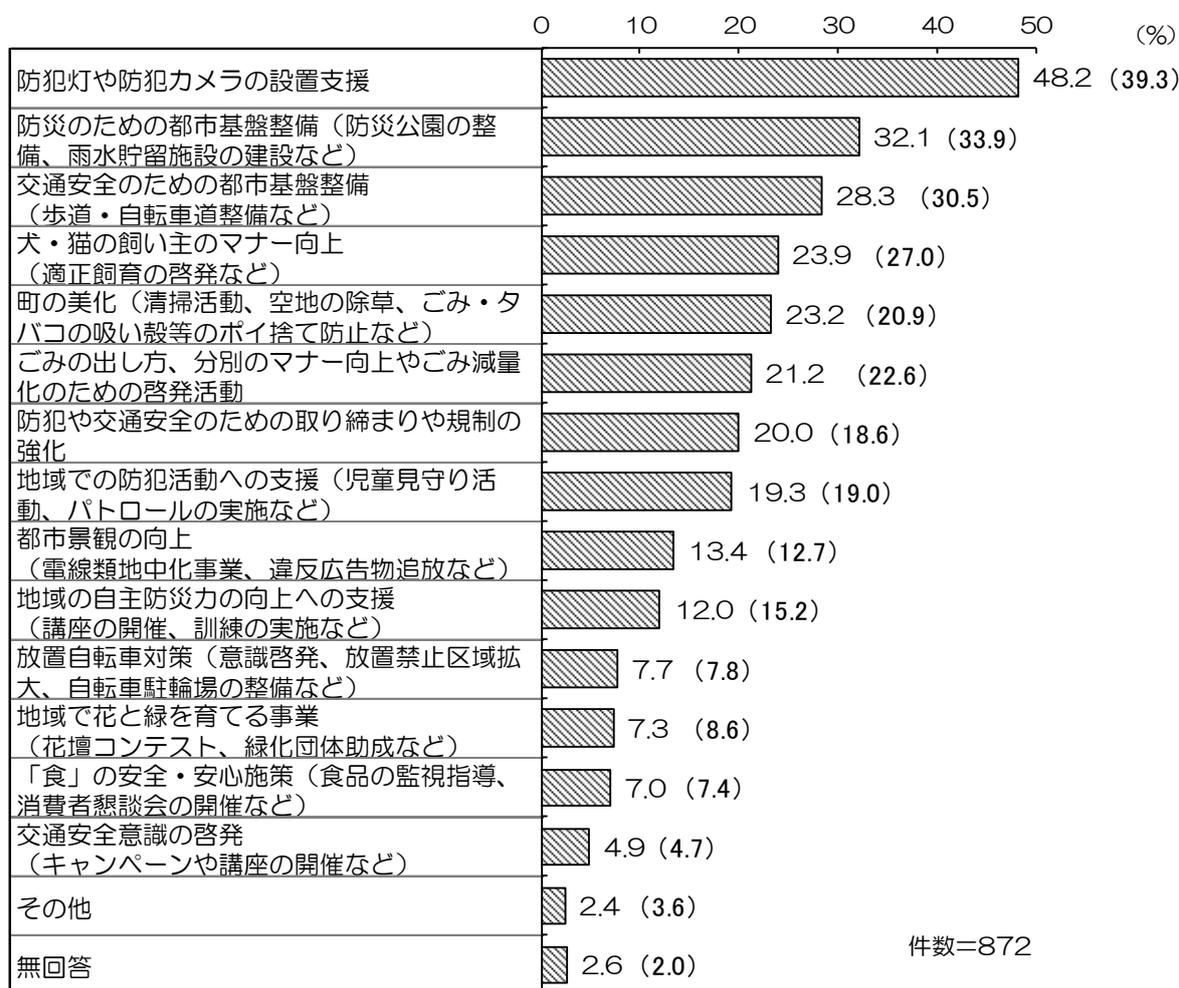
- ・「まちが快適できれいだ」86.8% (昨年度と設問変更)
- ・「防犯・防火・交通安全の取り組みが進められている」72.0% (昨年度と設問変更)
- ・「災害に強いまちづくりが進められている」69.1% (昨年度 64.5%)

となっており、7～8割程度がプラスの評価となっています。

一方、「そう思わない」という評価は、3項目とも4%台と少なくなっています。

2) 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

問8. 重点施策1 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。(〇は3つまで)



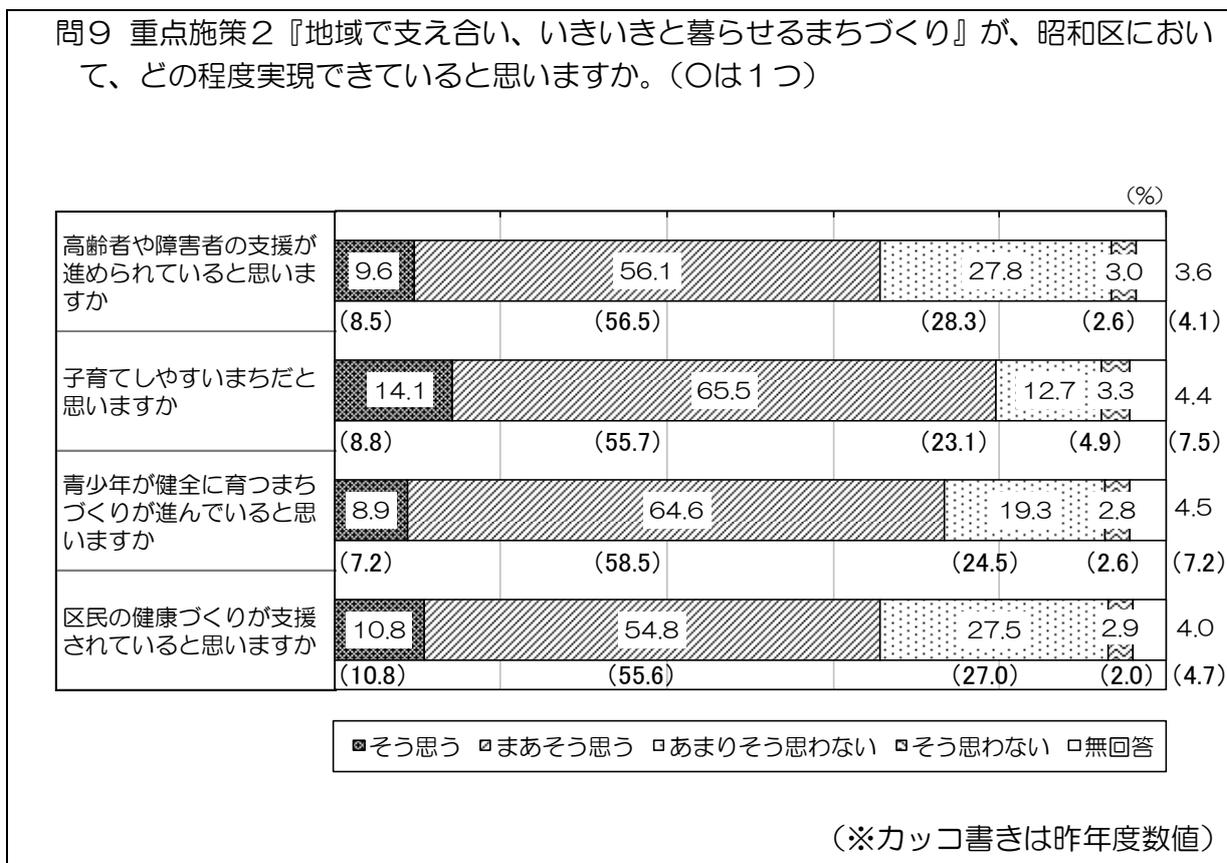
(※カッコ書きは昨年度数値)

重点施策1 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組みとしては、「防犯灯や防犯カメラの設置支援」48.2% (昨年度 39.3%) が最も高くほぼ半数の区民があげています。以下、

- ・「防災のための都市基盤整備 (防災公園の整備、雨水貯留施設の建設など)」32.1% (昨年度 33.9%)
- ・「交通安全のための都市基盤整備 (歩道・自転車道整備など)」28.3% (昨年度 30.5%) とハード系の事業が3割前後でつづき
- ・「犬・猫の飼い主のマナー向上 (適正飼育の啓発など)」23.9% (昨年度 27.0%)
- ・「町の美化 (清掃活動、空地の除草、ごみ・タバコの吸い殻等のポイ捨て防止など)」23.2% (昨年度 20.9%)
- ・「ごみの出し方、分別のマナー向上やごみ減量化のための啓発活動」21.2% (昨年度 22.6%) とソフト系事業が続いています。

(4) 重点施策2『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』について

1) 『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』の実現度

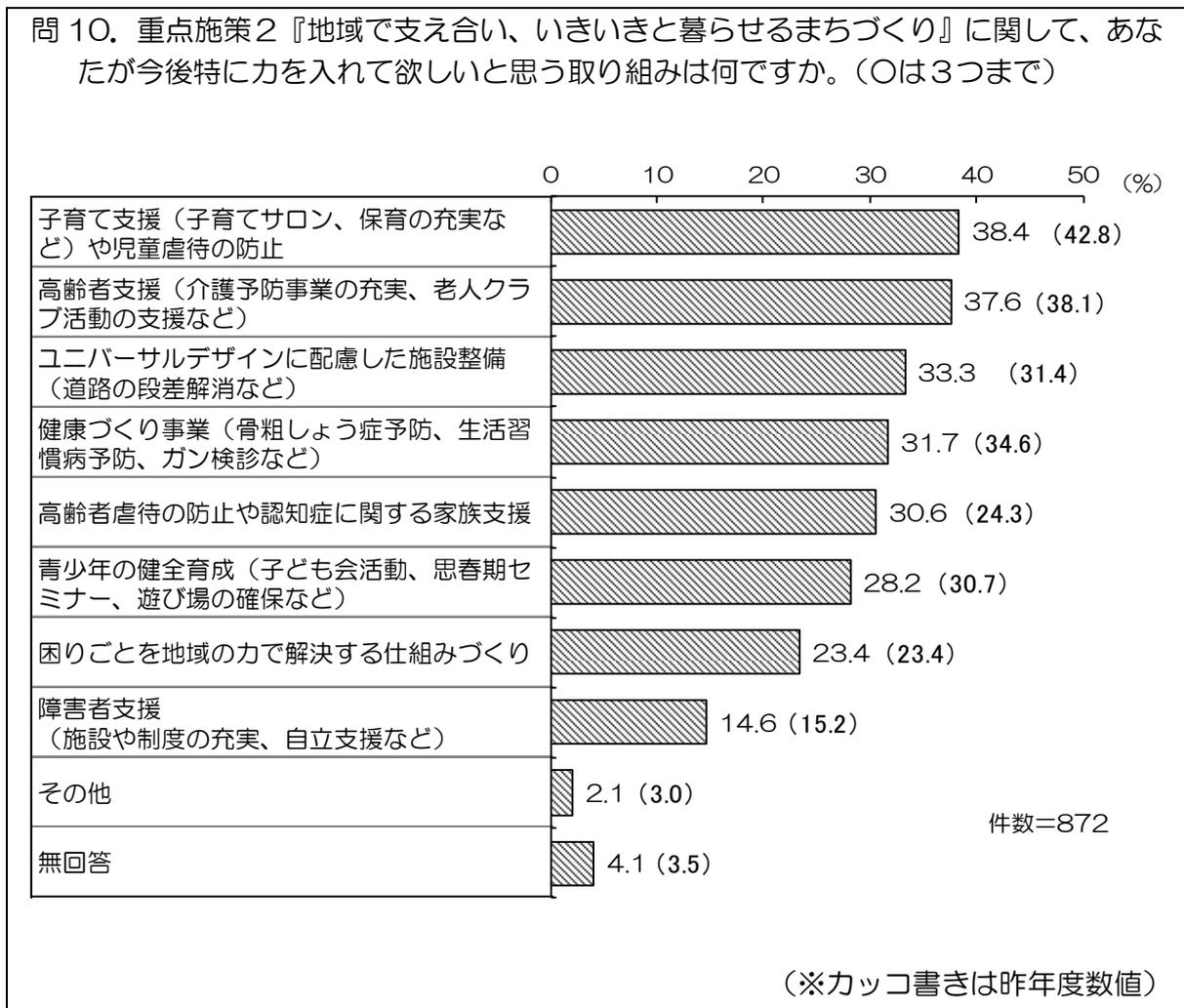


重点施策2『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』の実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

- ・「子育てしやすいまちづくりが進められている」79.6%（昨年度 64.5%）
- ・「青少年が健全に育つまちづくりが進んでいる」73.5%（昨年度 65.7%）

となっており、昨年度から大きく伸びています。他の2項目は66%程となっています。一方、「そう思わない」という評価は、4項目とも3%程度と僅かです。

2) 『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み



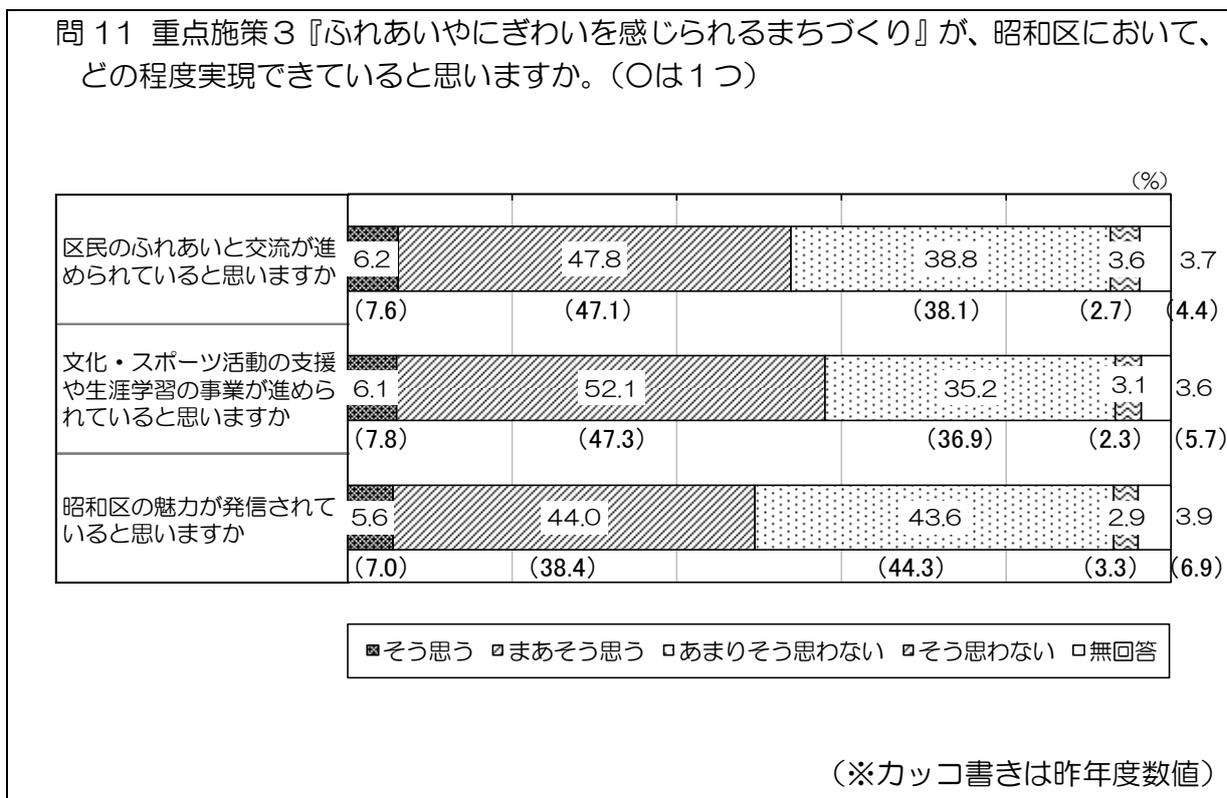
重点施策2 『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』に関して、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・「子育て支援（子育てサロン、保育の充実など）や児童虐待の防止」38.4%（昨年度 42.8%）
- ・「高齢者支援（介護予防事業の充実、老人クラブ活動の支援など）」37.6%（昨年度 38.1%）
- ・「ユニバーサルデザインに配慮した施設整備（道路の段差解消など）」33.3%（昨年度 31.4%）
- ・「健康づくり事業（骨粗しょう症予防、生活習慣病予防、ガン検診など）」31.7%（昨年度 34.6%）
- ・「高齢者虐待の防止や認知症に関する家族支援」30.6%（昨年度 24.3%）
- ・「青少年の健全育成（子ども会活動、思春期セミナー、遊び場の確保など）」28.2%（昨年度 30.7%）

となっており、区民のニーズは多岐に渡っています。このうち、「高齢者虐待の防止や認知症に関する家族支援」については前年度比+6.3%と高い伸びを示しています。

(5) 重点施策3『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』について

1)『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』の実現度



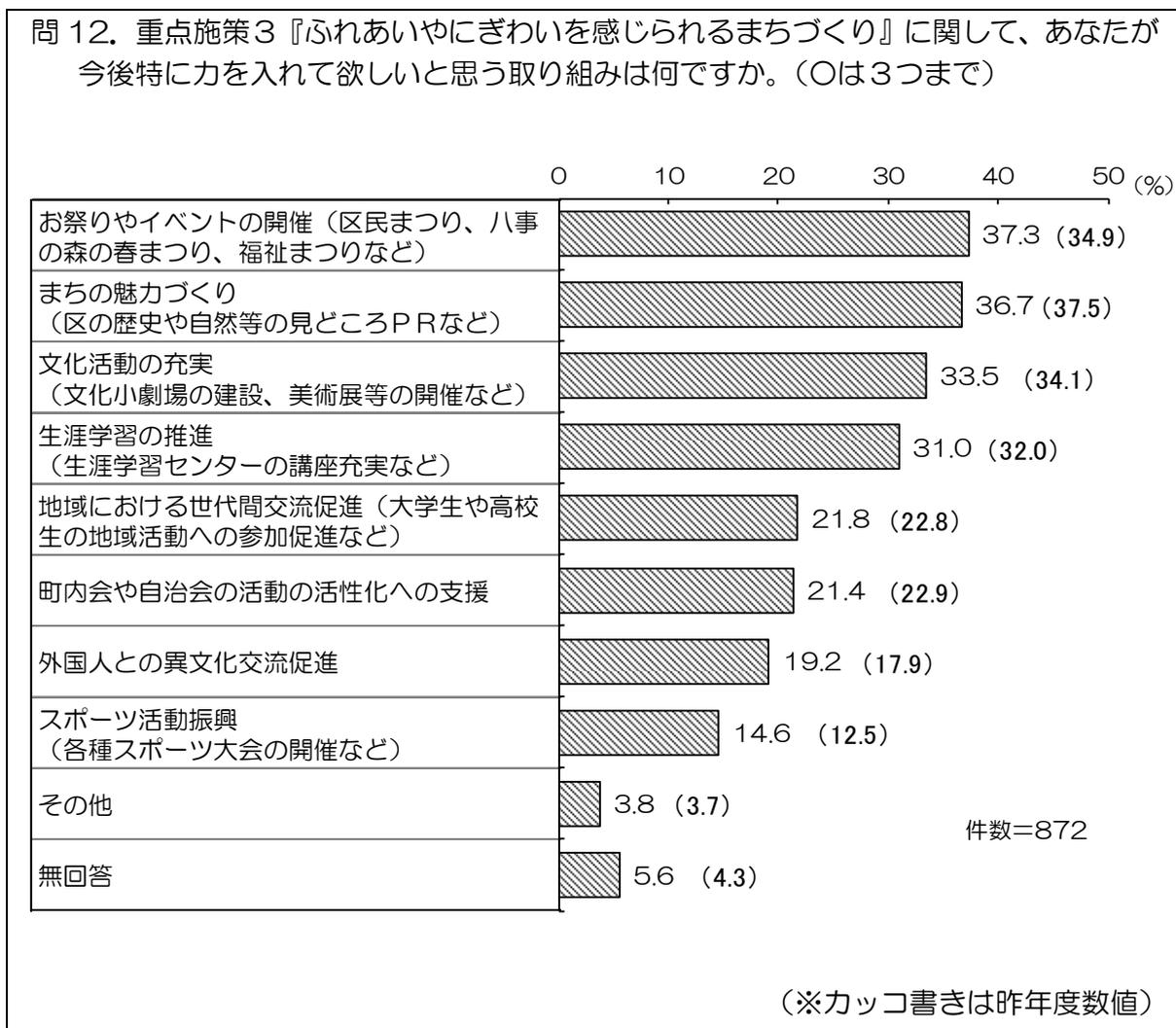
重点施策3『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』の実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

- ・「文化・スポーツ活動の支援や生涯学習の事業が進められている」  
58.2% (昨年度 55.1%)
- ・「区民のふれあいと交流が進められている」54.0% (昨年度 54.7%)
- ・「昭和区の魅力が発信されている」49.6% (昨年度 45.4%)

となっています。

また、「そう思わない」という評価の割合は、各項目とも3%前後となっています。

2) 『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

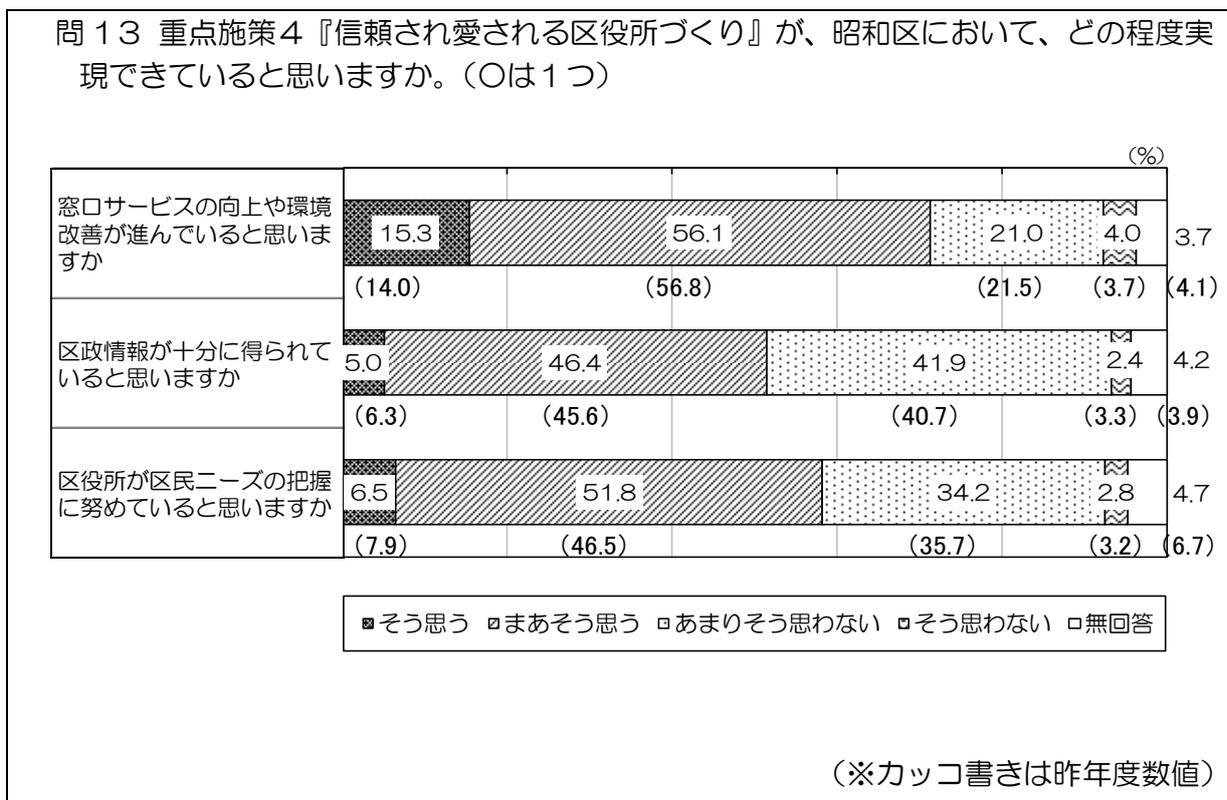


重点施策3 『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・「お祭りやイベントの開催 (区民まつり、八事の森の春まつり、福祉まつりなど)」37.3% (昨年度 34.9%)
  - ・「まちの魅力づくり (区の歴史や自然等の見どころPRなど)」36.7% (昨年度 37.5%)
  - ・「文化活動の充実 (文化小劇場の建設、美術展等の開催など)」33.5% (昨年度 34.1%)
  - ・「生涯学習の推進 (生涯学習センターの講座充実など)」31.0% (昨年度 32.0%)
- となっています。

(6) 重点施策4『信頼され愛される区役所づくり』について

1) 『信頼され愛される区役所づくり』の実現度



重点施策4『信頼され愛される区役所づくり』に関する実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

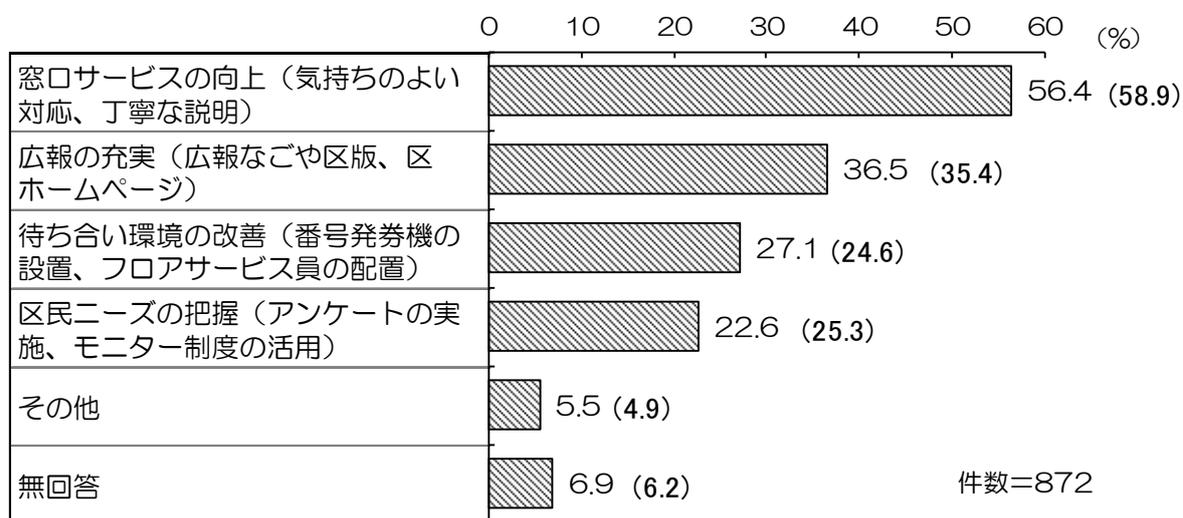
- ・「窓口サービスの向上や環境改善が進んでいる」71.4%（昨年度 70.8%）
- ・「区役所が区民ニーズの把握に努めている」58.3%（昨年度 54.4%）
- ・「区政情報が十分に得られている」51.4%（昨年度 51.9%）

となっています。

一方、「そう思わない」という評価の割合は、「窓口サービスの向上や環境改善が進んでいる」については4%で、他の2項目については2%台となっています。

2) 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

問 14. 重点施策4 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。(〇は2つまで)

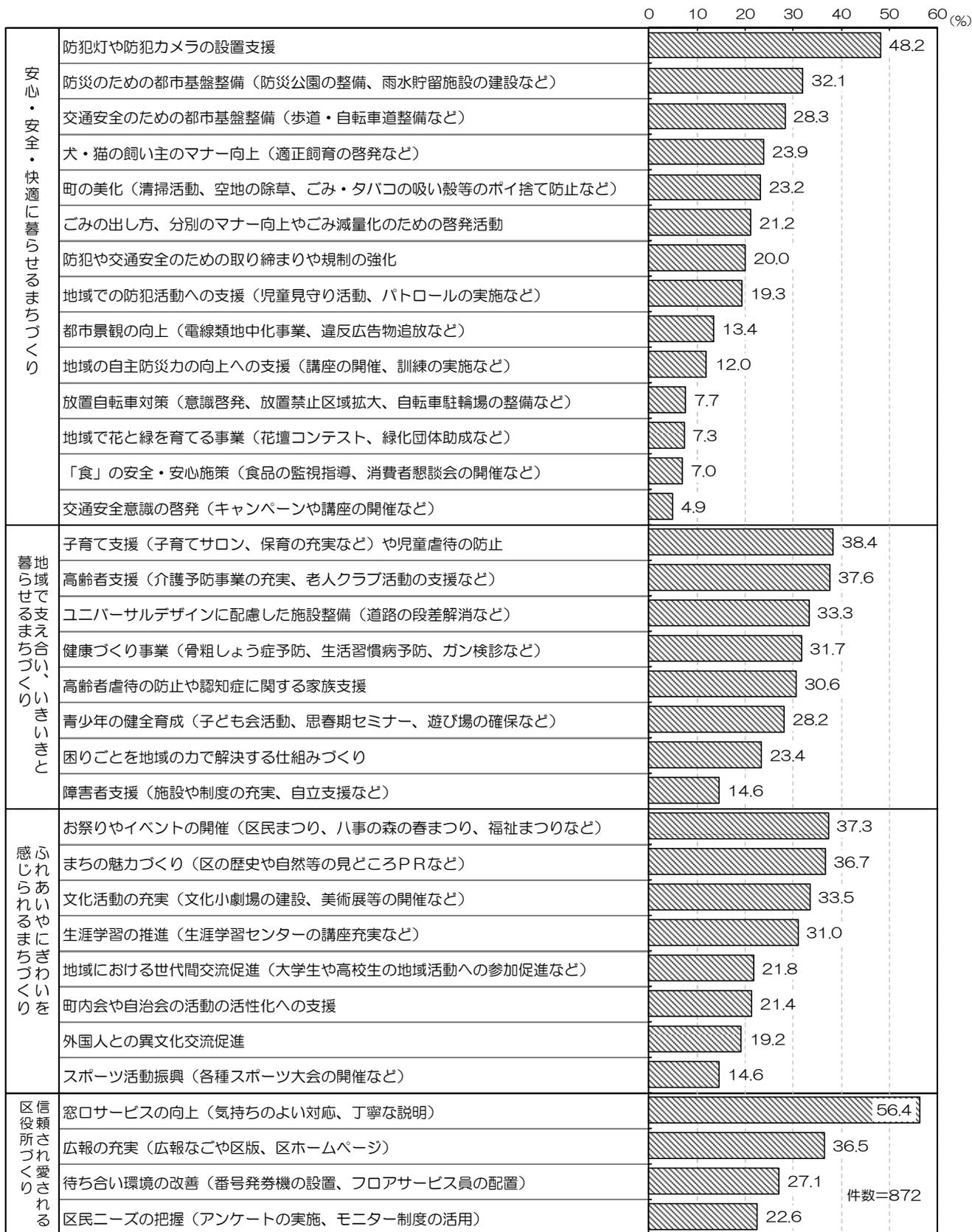


(※カッコ書きは昨年度数値)

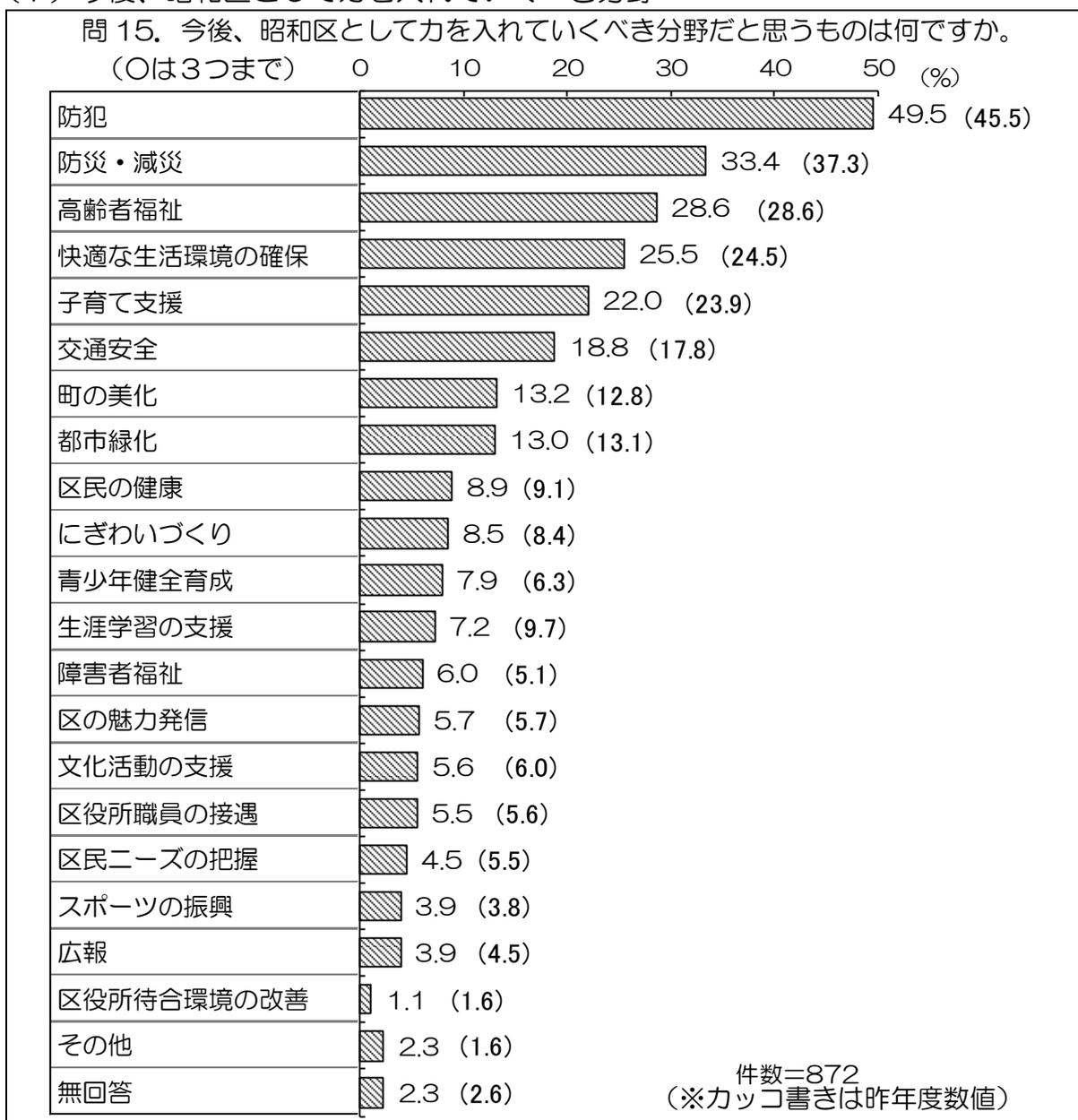
重点施策4 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・「窓口サービスの向上 (気持ちのよい対応、丁寧な説明)」56.4% (昨年度 58.9%)
  - ・「広報の充実 (広報なごや区版、区ホームページ)」36.5% (昨年度 35.4%)
  - ・「待ち合い環境の改善 (番号発券機の設置、フロアサービス員の配置)」27.1% (昨年度 24.6%)
  - ・「区民ニーズの把握 (アンケートの実施、モニター制度の活用)」22.6% (昨年度 25.3%)
- となっています。

# 今後力を入れて欲しいと思う取り組み



(7) 今後、昭和区として力を入れていくべき分野



今後、昭和区が力を入れていくべき分野としては、

- ・「防犯」49.5% (昨年度 45.5%)
- ・「防災・減災」33.4% (昨年度 37.3%)
- ・「高齢者福祉」28.6% (昨年度 28.6%)
- ・「快適な生活環境の確保」25.5% (昨年度 24.5%)
- ・「子育て支援」22.0% (昨年度 23.9%)

となっています。

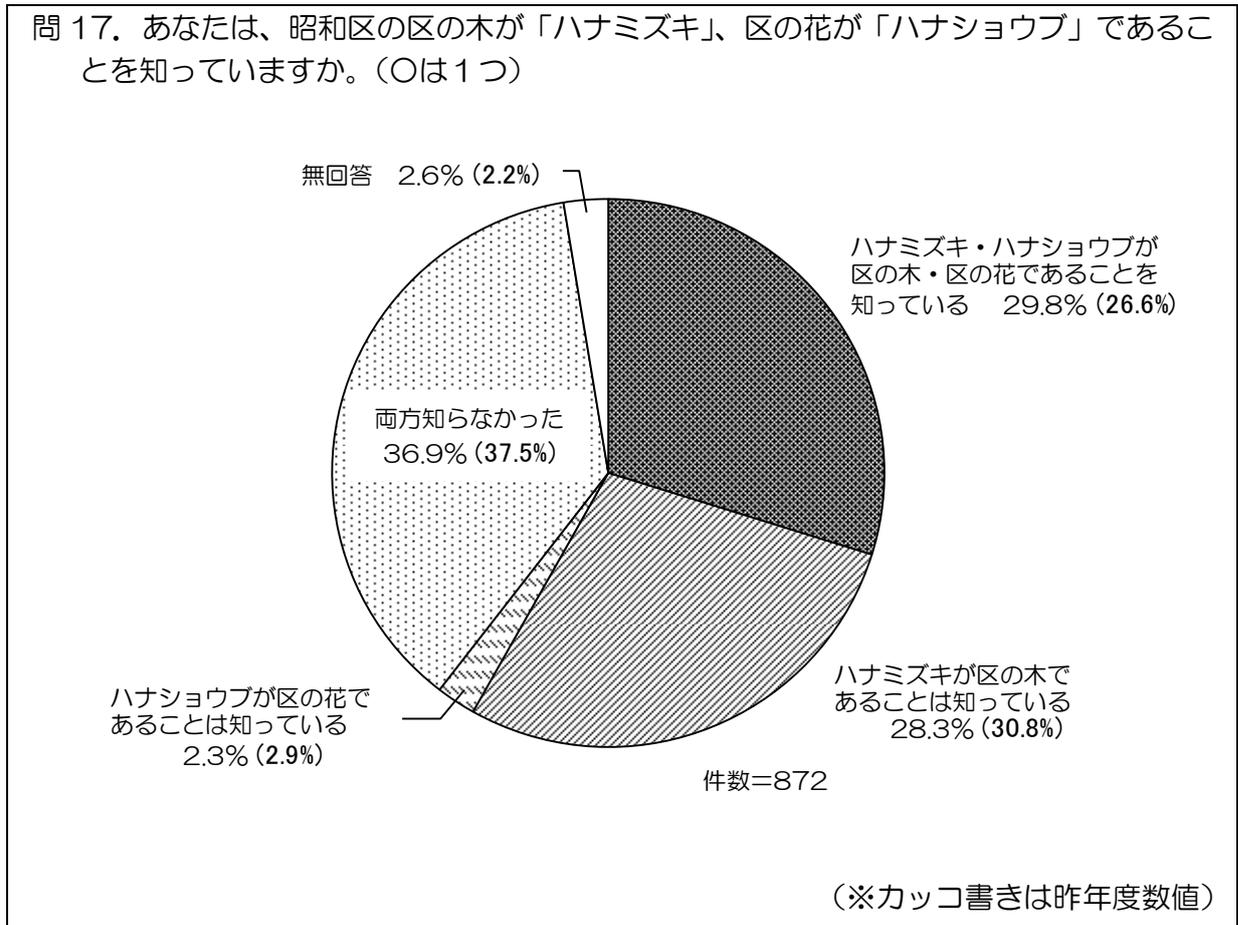
(8) 昭和区に期待することや意見

問 16. あなたが昭和区に期待することや意見などがありましたら自由に記入ください。

昭和区に期待することやご意見などを自由回答形式でたずねたところ、防犯、交通安全、子育て、高齢者福祉等 212 件の意見等があげられました。

### 3 区役所で行っている具体的な事業に関連したことについて

#### (1) 昭和区の区の木、区の花の認知状況



昭和区の区の木が「ハナミズキ」、区の花が「ハナショウブ」であることの認知度としては、

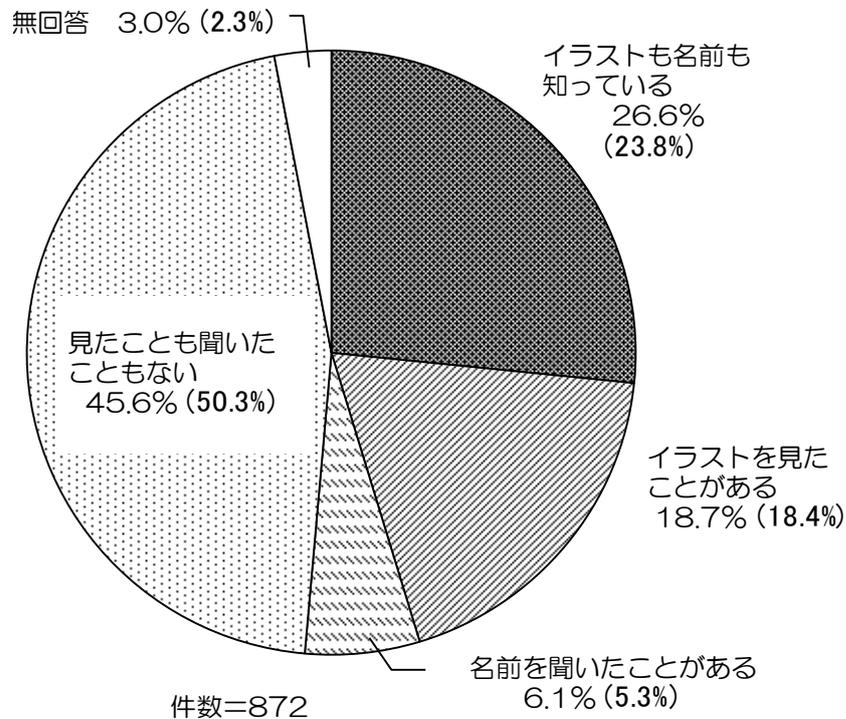
- ・「ハナミズキ・ハナショウブが区の木・区の花であることを知っている」29.8% (昨年度 26.6%)
- ・「ハナミズキが区の木であることは知っている」28.3% (昨年度 30.8%)

この2つを合わせた区の木の認知率は58.1% (昨年度 57.4%) となっています。

一方、区の花の認知率は「ハナショウブが区の花であることは知っている」(2.3%) (昨年度 2.9%) を合わせて32.1% (昨年度 29.5%) となっています。

(2) 昭和区のマスコット「ショウちゃん」について

問 18. あなたは、昭和区のマスコット「ショウちゃん」(下記イラスト)を知っていますか。  
(〇は1つ)



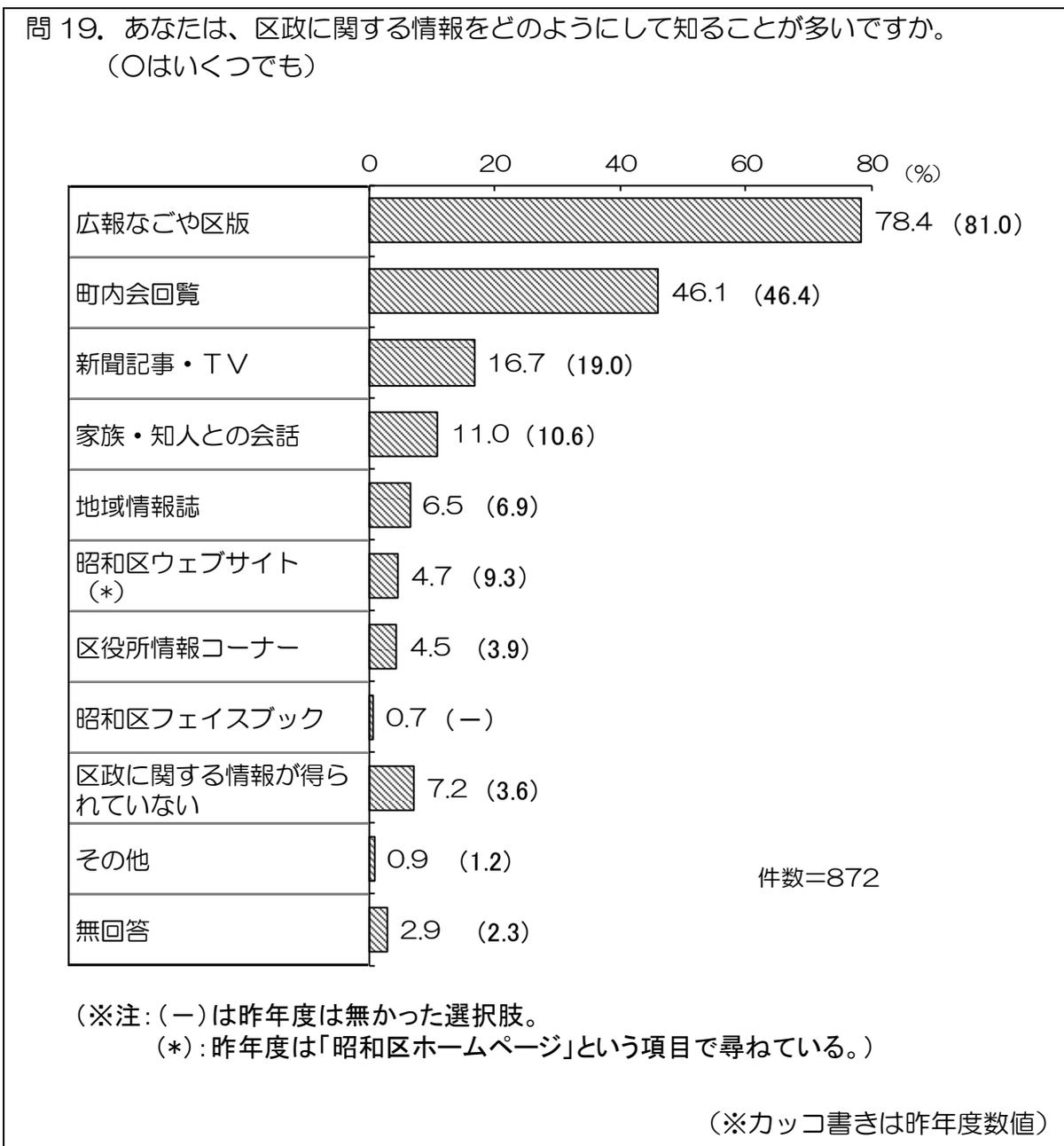
(※カッコ書きは昨年度数値)

昭和区のマスコット「ショウちゃん」の認知状況としては、

- ・「イラストも名前も知っている」は26.6%（昨年度23.8%）
- ・「イラストを見たことがある」18.7%（昨年度18.4%）
- ・「名前を聞いたことがある」6.1%（昨年度5.3%）

となっています。この3つを合わせた、見聞きしたことがある割合は51.4%（昨年度47.5%）と、初めて過半数を超えました。

### (3) 区政に関する情報の入手経路



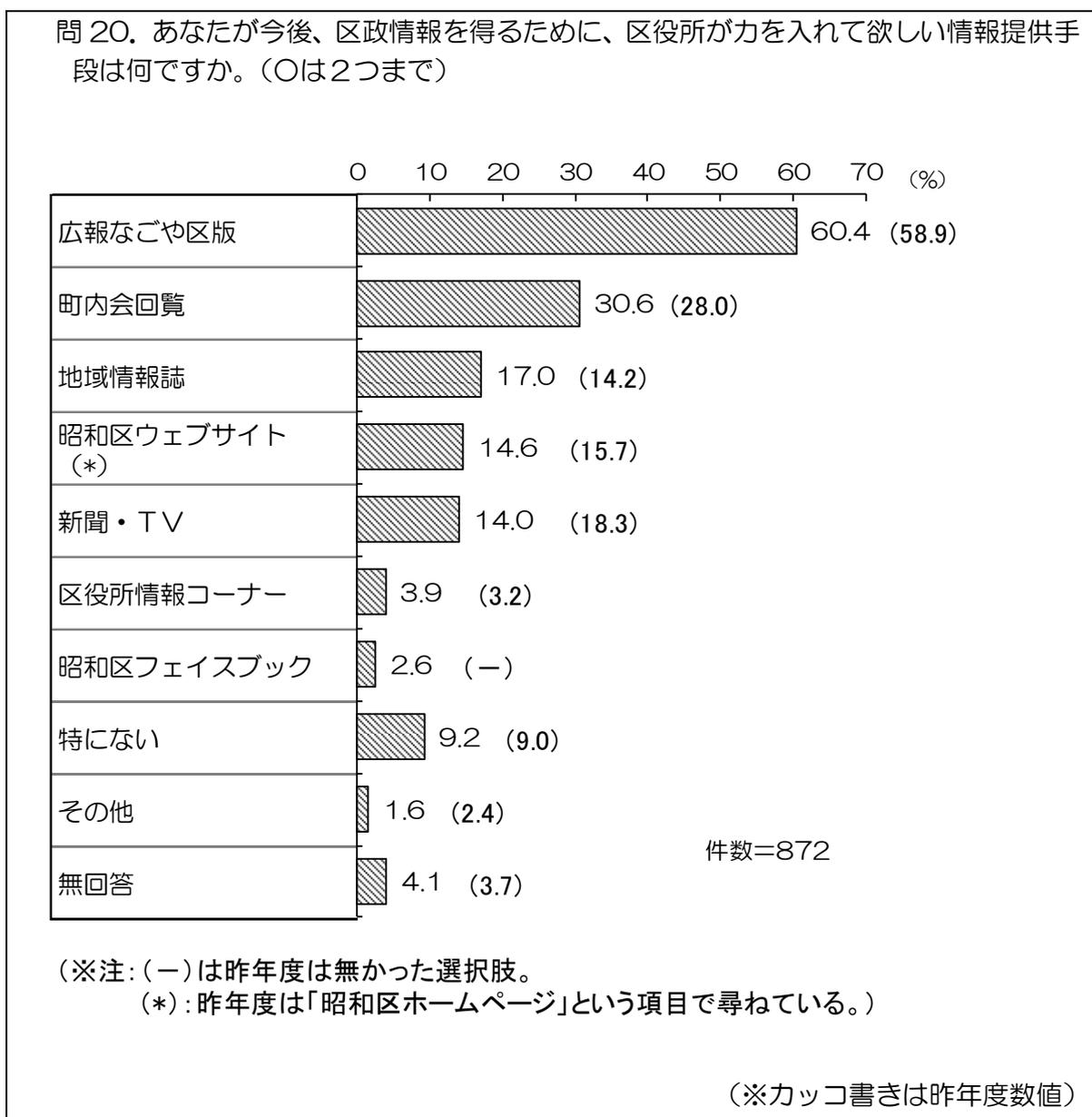
区政に関する情報の入手先については、

- ・「広報なごや区版」78.4% (昨年度 81.0%)
- ・「町内会回覧」46.1% (昨年度 46.4%)

となっています。

一方、「区政に関する情報が得られていない」が7.2% (昨年度 3.6%) 見られます。

(4) 区役所に力を入れて欲しい情報提供手段



今後、区政情報を得るために区役所に力を入れて欲しい情報提供手段としては、

- ・「広報なごや区版」60.4% (昨年度 58.9%)
- ・「町内会回覧」30.6% (昨年度 28.0%)
- ・「地域情報誌」17.0% (昨年度 14.2%)

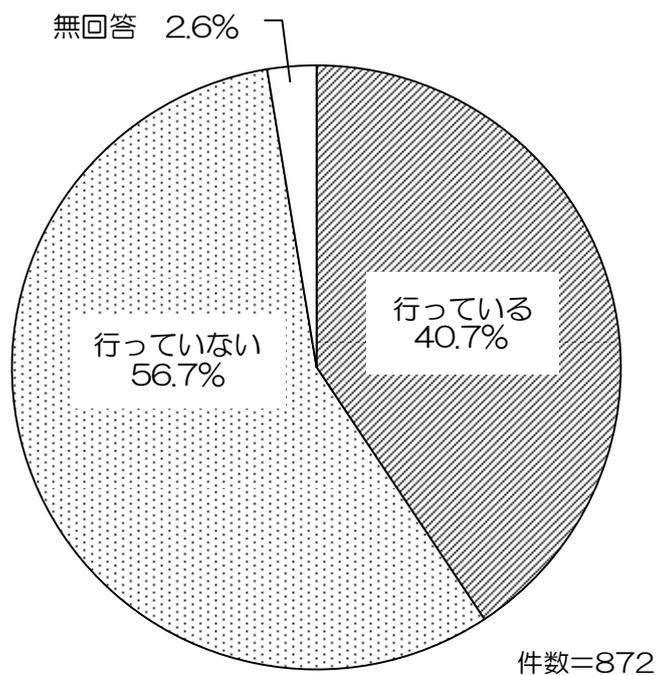
となっており、地域に密着した紙媒体に対するニーズは高くなっています。

#### 4 家庭での震災対策について

##### (1) 家具の転倒防止について

###### 1) 家具の転倒防止の実施度

問 21. あなたは、地震から命を守るため、冷蔵庫、タンス、食器棚などの家具の転倒防止を行っていますか。(〇は1つ)

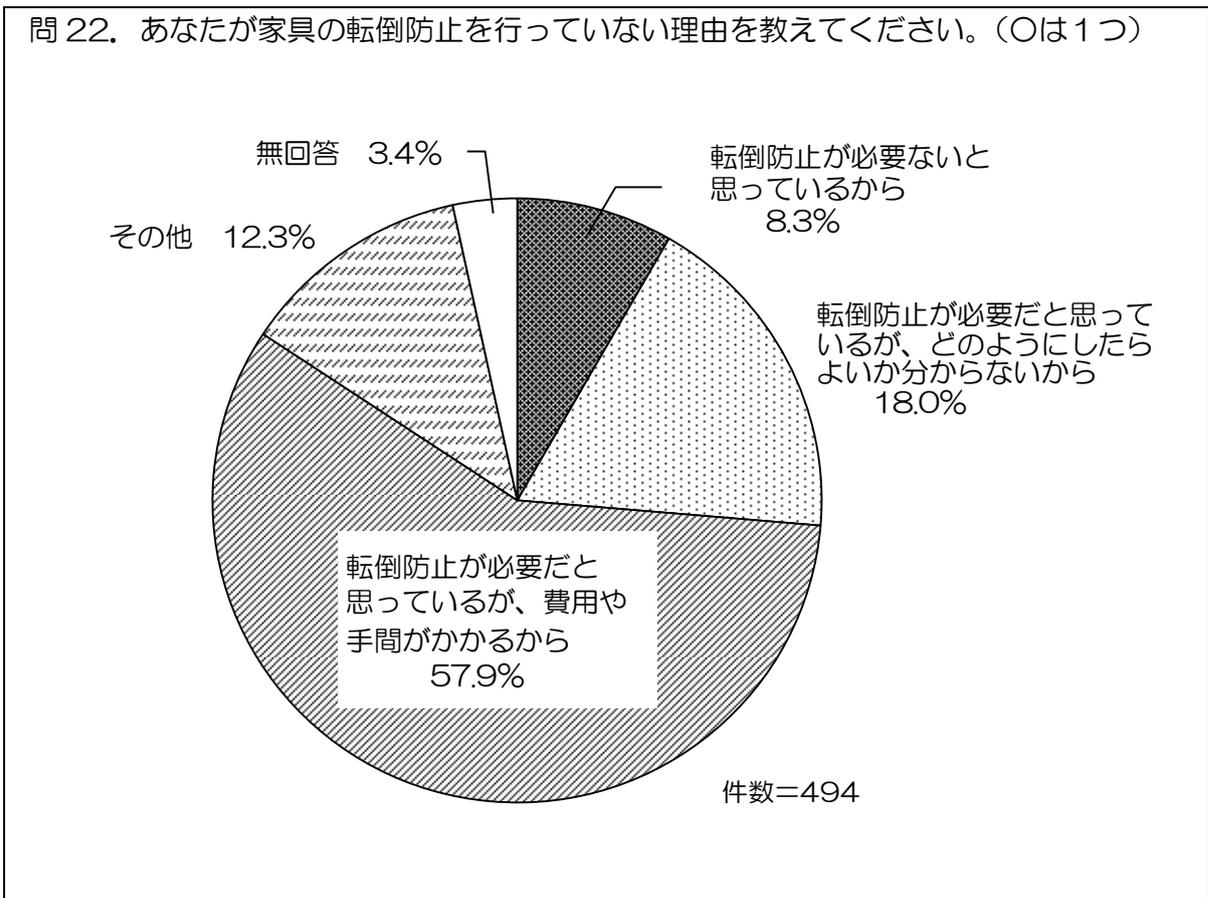


地震から命を守るため、冷蔵庫、タンス、食器棚などの家具の転倒防止については、

- ・「行っている」40.7%
- ・「行っていない」56.7%

となっています。

## 2) 家具の転倒防止を行っていない理由

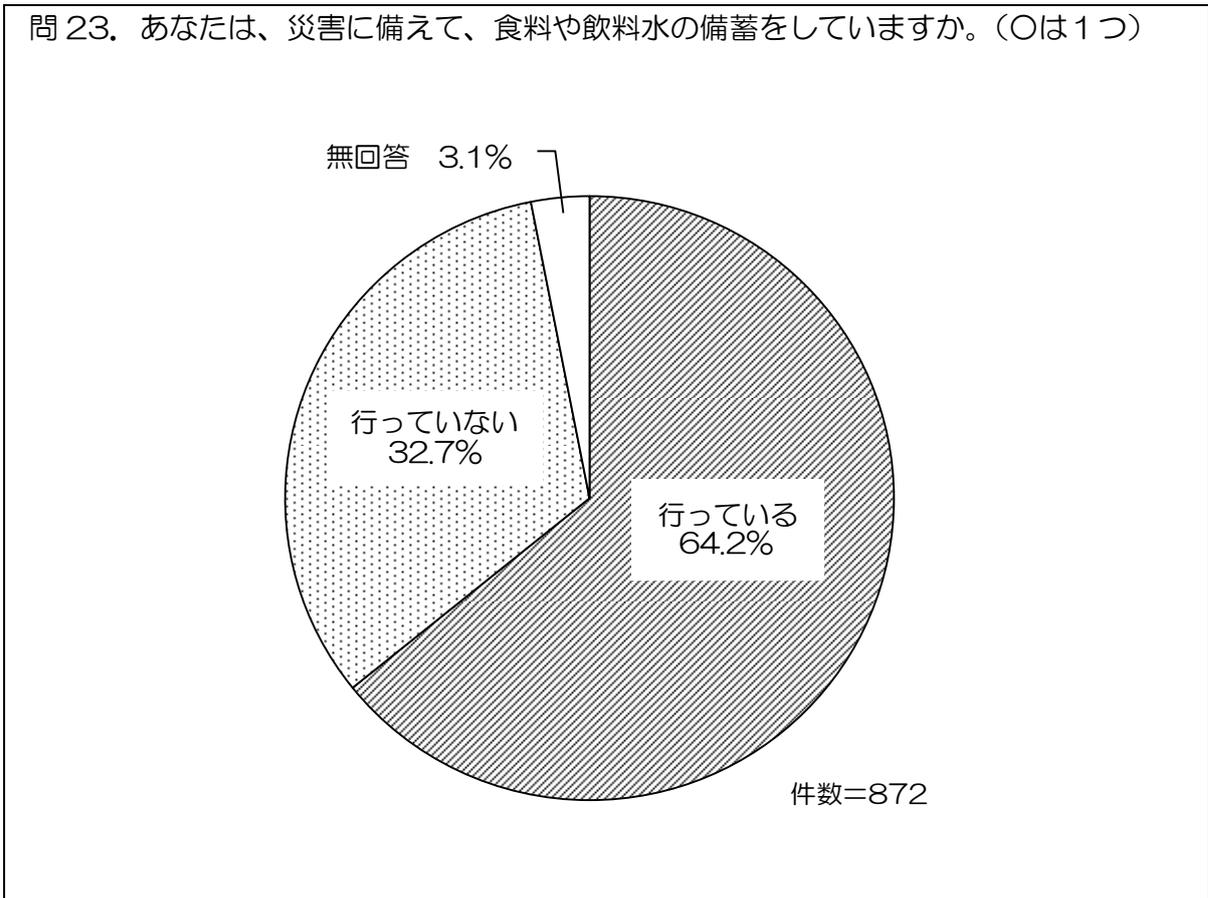


家具の転倒防止を行っていない方（494人）の理由としては、

- ・「転倒防止が必要だと思っているが、費用や手間がかかるから」57.9%
  - ・「転倒防止が必要だと思っているが、どのようにしたらよいか分からないから」18.0%
- であり、合わせた75.9%が家具の転倒防止は必要だと思っています。

(2) 食料や飲料水の備蓄について

1) 食料や飲料水の備蓄の実施度



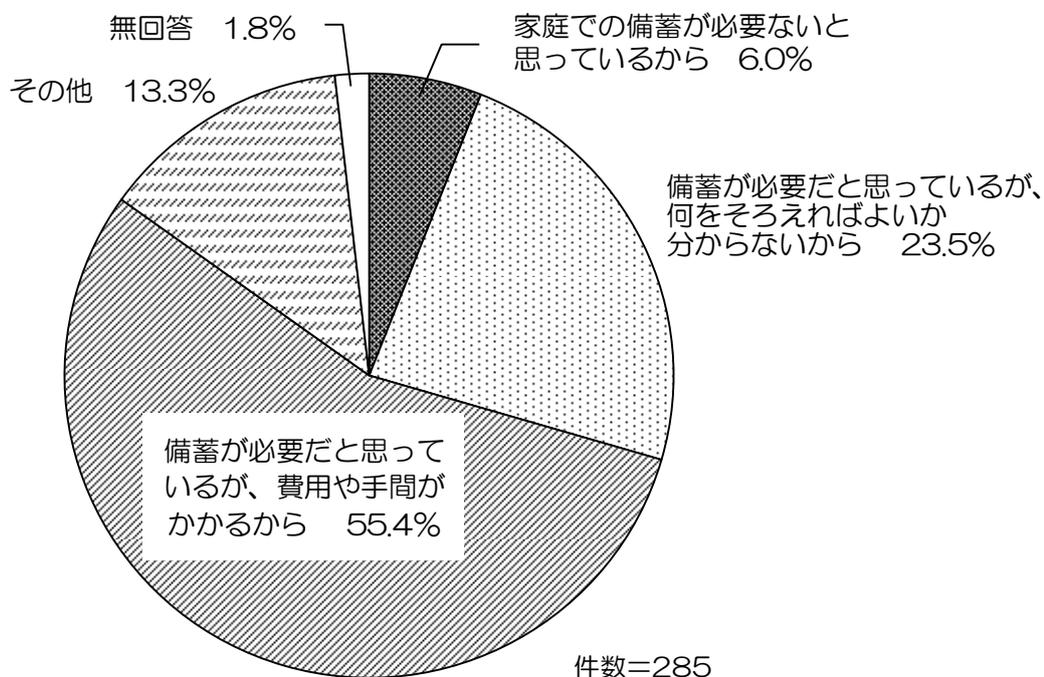
災害に備えて、食料や飲料水の備蓄については、

- ・「行っている」64.2%
- ・「行っていない」32.7%

となっています。

## 2) 食料・飲料水の備蓄を行っていない理由

問 24. 食料・飲料水の備蓄を行っていない理由を教えてください。(〇は1つ)



食料や飲料水の備蓄を行っていない方（285人）の理由としては、

- ・「備蓄が必要だと思っているが、費用や手間がかかるから」55.4%
  - ・「備蓄が必要だと思っているが、何をそろえればよいか分からないから」23.5%
- となっており、合わせると78.9%と8割が家庭での備蓄が必要だと思っています。